

音楽科学習指導案

【題材】 いろいろな音の響きを感じ取ろう

考察	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と楽器の音色との関わりについて気付く力 (A (2) イ (ア) B (1) イ) ・曲想に合う音色で旋律楽器及び打楽器を演奏する技能 (A (2) ウ (イ)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想に合う楽器の音色で旋律楽器や打楽器を演奏することについて思いや意図をもつ力 (A (2) ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな楽器の音色に関心を持ち, 友達と音を合わせて演奏する活動に楽しく取り組もうとする力
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と声や簡易打楽器の音色との関わりについて気付き, 音色を意識して歌ったり簡易打楽器を演奏したりしてきている。 ・曲想と金管楽器や旋律楽器の音色との関わりについて学習し, それらを生かして合奏することは初めてである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現したい曲想に合った声の音色や簡易打楽器の音色を工夫して演奏することについて思いをもって演奏してきている。 ・さまざまな音色を出すために, 奏法を試すことができる児童と, 楽器を演奏することで満足してしまう児童とがいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の表現したい曲想に合わせて, 様々な声の出し方や簡易打楽器の叩き方を工夫して楽しく演奏してきている。 ・自分の演奏をすることに一生懸命になり, 友達の音を聴かずに演奏していたり, 音を合わせて演奏できなかつたりする。
価値	<p>音色とは, 声や楽器固有のものであり, 声や楽器そのものがある音の特徴である。同時に, 音色の感じ取り方は人によって違うものでもある。音色を自他のイメージや感情と結び付けて聴いたり, 演奏に生かしたりすることは, 音色が曲想を表現する上で大切な一因であることに気付くとともに, それらの音色を重ねて演奏する音の楽しさに気付くことができる。また, その中で, 自分とは違う音色の捉え方を知ることができることは, 自分の音や音楽に対する感性を豊かにすることにつながる。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・金管合奏の動画や, 4種類の金管楽器の演奏音源を用意することは, 楽器のもつ音色の特徴を比較しながら捉えることができ, 曲想と楽器の音色の関わりについて気付くことができる。 ・全体合奏の前に同じ楽器同士で演奏する場を設定することは, 同じ音色の友達と曲想に合う音色について話したり音を合わせて演奏したりする機会となり, 曲想に合う音色で演奏する技能を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器を選択する際に楽器ごとに試奏する場を設定することは, 曲想に合う音色について一人一人が考える機会となり, 自分の担当する楽器について思いや意図をもつきっかけをつくることができる。 ・全員で合奏する際に, お互いの思いや意図を伝え合う機会をもつことは, 曲想に合う演奏の仕方についての考えを広げることにつながり, 曲想に合う演奏について思いや意図を膨らませることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞をする際に楽器の写真や動画を用意したり, 楽器決めの際に楽器ごとに試奏する場を設定したりすることは, 様々な楽器の音色に関心をもつことにつながる。 ・様々な音色の楽器を用意することで, 音を合わせたときの響きが豊かになることに気付き, 音を合わせる楽しさを感じながら合奏をすることができる。
見方・考え方	<p>音楽に対する感性を働かせ, 曲を楽器の音色やその働きの視点で捉え, 自己のイメージや感情, 経験と関連付けて鑑賞したり演奏したりすること。</p>		
今後の学習	<p>4年「重なり合う音の響きを楽しもう」において, 音色や音の重なりと曲想との関わりについて気付き, 音の重ね方を工夫して歌ったり演奏したりする学習へと発展していく。</p>		

指導と評価の計画

目標	互いの楽器の音色とそれらが重なる音の響きを聴きながら、きれいに音を合わせて合奏をする。			
評価 規準	(①知・技) 曲想と楽器の音色との関わりに気づき、拍を意識しながら互いの楽器の音を合わせて演奏している。 (②思・判・表) 曲想に合う楽器の音色で演奏することに思いや意図をもっている。 (③主体的態度) いろいろな楽器の音色に関心を持ち、友達と音を合わせて演奏する活動に楽しく取り組もうとしている。			
教材	・『『ルスランとリュドミラ』序曲』 ミハイル・グリンカ 作曲 高橋 宏樹 編曲 ・補助教材『トランペット吹きの日』『ピッコロトランペット王子の行進曲』(Tp)『アレグロ』『旅愁』(Hr)『いつか王子様が』(Tb)『スワニー河による変奏曲』(Tub) ・『パフ』 ピーター ヤーロウ・レナード リプトン 作曲 芙龍明子 日本語訳詞 浦田健次郎 編曲			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であ う	1	○様々な金管楽器の音色を聴き、学習のめあてをつかむ。 曲想と楽器の音色の関係を見付よう。	○金管楽器やその音色に関心をもてるように、金管合奏の動画を用意する。	◇金管楽器やその音色に関心もちながら曲を聴き、感想を伝えたり記述したりしている。 <発言・ロイロノート①②③>
	1	○『『ルスランとリュドミラ』序曲』を鑑賞する。(本時)	○曲想と金管楽器の音色との関わりに気付けるように、それぞれの金管楽器が主役となっている音源を、比較しながら聴く機会を設定する。	◇曲想と金管楽器の音色とを結び付けて発言したり記述したりしている。 <発言・ロイロノート①>
	1	○『パフ』を歌ったり聴いたりして学習のめあてをつかむ。	○『パフ』の曲想を感じ取れるように、パフの物語を紹介する機会を設定する。	◇『パフ』の曲に関心もち、曲から感じ取った登場人物の気持ちやイメージを発言したり記述したりしている。 <発言・ロイロノート③>
追 求 す る	1	○『パフ』の各旋律を歌ったり、キーボードで演奏したりする。	○各旋律の階名が分かるように、階名を記した「階名お助けカード」を用意する。	◇各旋律に階名を記述したり、正しい階名で歌ったり演奏したりしている。 <表現①>
	1	○『パフ』の各旋律に合う楽器を選ぶ。	○曲想に合う音色の楽器を試行しながら決められるように、学期ごとに試すことのできる場を設定する。	◇曲想に合う楽器の音色について発言したり記述したりしている。 <表現②>
	1	○『パフ』の各旋律を選んだ楽器で演奏する。	○正しい音で演奏できるように、同じ楽器同士で演奏する場を設定する。	◇担当する楽器の旋律を正しい音で演奏している。<表現①>
	2	○『パフ』の曲想に合う音色の出し方を考えながら合奏する。	○自分の思いや意図を持ち、友達と伝え合いながら表現を考えられるように、向かい合いながら演奏する場を設定する。	◇曲想に合う音色の出し方や音の合わせ方について思いや意図を持ち、友達に伝えたり表現に生かしたりしている。 <発言・ロイロノート・表現②>
ま 生と かめ する	1	○『パフ』を全員で合わせて合奏する。	○いろいろな音色を合わせて曲想に合う演奏ができるようになったことを実感できるように、合奏している様子を動画で撮影し鑑賞する機会を設定する。	◇自分の担当する楽器の音色を曲想に合わせて工夫しながら、みんなと音を合わせて楽しく演奏している。 <表現①②③>

本時の学習（2／9時間目）

ねらい グループで、金管楽器の音色について聴き取ったことを言葉や音で伝え合うことを通して、曲想と様々な金管楽器の音色との関わりについて気付くことができる。

評価項目 曲想と金管楽器の音色とを結び付けて発言したり記述したりしている。

<発言・アイデアノート①>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>・慌てて走ったり音を立てずにそろそろと歩いたりする曲の感じが表れる理由を考えているのだったな。金管楽器にはいろいろな音色があることがわかったから、友達と話して曲の感じが出る理由を見付けたいな。 (目的意識)</p>	<p>○金管楽器の音色を手掛かりにして『ルスランとリュドミラ序曲』の曲想が表れる理由を聴きながら考える、という本時の見通しを確認できるように、前時で自分が聴きながら調べた各楽器の音色について振り返るよう伝える。</p>
<p>めあて：「慌てて走ったり音を立てずにそろそろと歩いたりする感じ」がする理由を金管楽器の音色をヒントにして考えよう。</p>	
<p>2 金管楽器の音色について聴き取ったことや、感じ取った曲想を言葉や音で伝え合う。</p> <p>・トランペットとホルンの音を聴き比べたら、トランペットは明るくてはねるような音色、ホルンは落ち着いていて温かい音色だったよ。</p> <p>・友達が言うように、トロンボーンはホルンに似て温かい音がするけれど、聴き比べるとホルンより低くて重い音色がするのだな。金管楽器の音色には、それぞれに特徴があるのだな。</p> <p>・『ルスランとリュドミラ序曲』の慌てている感じがするのは、トランペットのはねるような音色が関係していそうだな。そろそろと歩いている感じがするのはどうしてだろう。</p> <p>・途中からトランペットのはねるような音色が違う楽器に変わったからじゃないかな。トロンボーンの音色も関係しているかもね。</p> <p>・友達のグループが言うように、ホルンやトロンボーンの重くて温かい音色も関係がありそうだな。アイデアノートに付け足して聴いてみよう。</p> <p>・慌てて走ったり音を立てずにそろそろと歩いたりする感じは、トランペットのはねるような音色やホルンやトロンボーンの重くて温かい音色などが重なっているから表れていることがわかったよ。 (目的を達成した意識)</p>	<p>○金管楽器の音色について聴き取ったことを基に発想を広げていけるように、グループで金管楽器ごとの音源を比較して聴き取ったことを伝え合いながらアイデアノート（学習プリント）に記述するよう促す。</p> <p>○聴き取った音色を実際の音と結び付けて話したり聴いたりできるように、ロイロノートに入っている金管楽器ごとの音源を、必要に応じて流しながら発言するよう促す。</p> <p>○『ルスランとリュドミラ序曲』の曲想と金管楽器の音色との結び付きに気付けるように、グループで伝え合った金管楽器ごとの音色と曲想とのつながりを問いかける。</p> <p>○『ルスランとリュドミラ序曲』の曲想と金管楽器の音色とを結び付けながら聴けるように、曲想に関わる音色を線で結び付けるよう促す。</p> <p>○曲想と金管楽器の音色の新たな聴き方に気付けるように、グループごとに曲想が表れる理由を発表するよう促す。</p> <p>○自分たちの気付いた聴き方で味わって聴くことができるように、ワークシートを見ながら、再度曲全体を聴くよう促す。</p>
<p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>・私は、トランペットの明るくてはねている音色が好きだから、そこを中心におすすめポイントを記述しよう。</p> <p>・曲の感じを出すために楽器の音の音色が大切なことがわかったよ。</p>	<p>○自分にとっての曲の価値を自覚できるように、曲のおすすめポイントを振り返りシートに記述するよう促す。</p> <p>○曲想と楽器の音色とを結び付けて聴けたことを実感できるように、金管楽器の音色を基に曲想を表す理由を考えられたことを称賛する。</p>